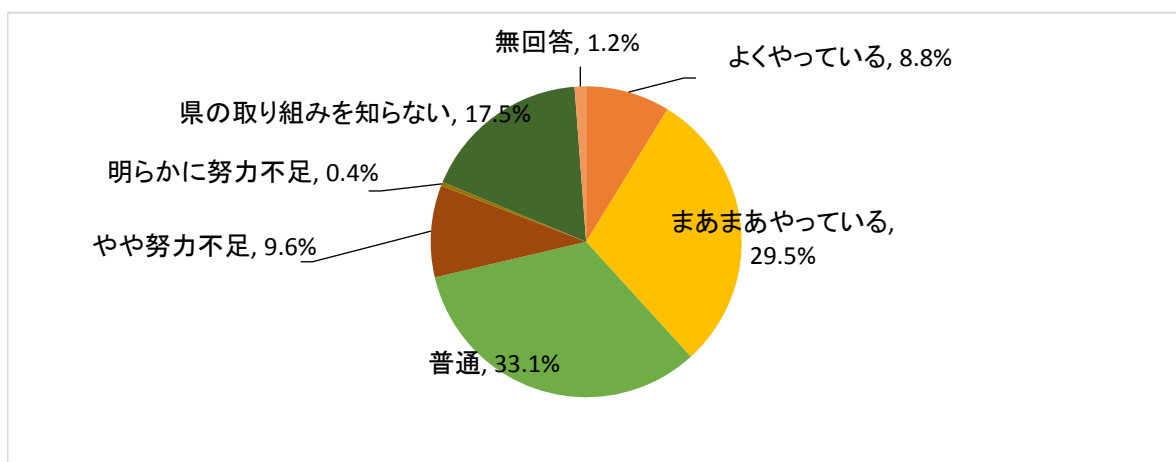


【香川県の行財政改革についてのアンケート】

調査期間 R2.1.21 ~ R2.2.3
 回答率 78.7% 回答者数 251人

【問1】あなたは、これまでの香川県の行財政改革への取り組みについて、どのように思われますか。次の中から1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
よくやっている	22	8.8%
まあまあやっている	74	29.5%
普通	83	33.1%
やや努力不足	24	9.6%
明らかに努力不足	1	0.4%
県の取り組みを知らない	44	17.5%
無回答	3	1.2%
計	251	100.1%



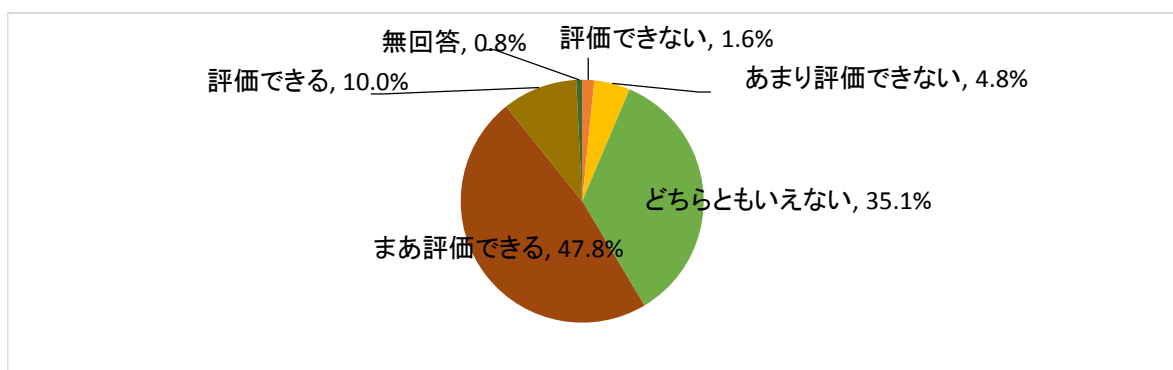
【問2】現在、「新行財政改革基本指針（平成28年度～令和2年度）」に基づき実施している各項目についてお聞きします。
「評価」については、各項目の平成28年度から4年間の実施内容についてどのように思われるかを、「今後の重要性」については、それぞれの項目が今後どれくらい重要と思われるかを5段階のうちから1つずつ選んで○をつけてください。また、特に回答の理由などがあれば、ご自由にお書きください。

1 業務執行体制の最適化

a) 時代の変化や高度化・複雑多様化する行政課題に適応できる組織への見直しを行っています。(子どもへの切れ目ない支援を総合的に推進するため、「子ども政策推進局」を設けるなど)

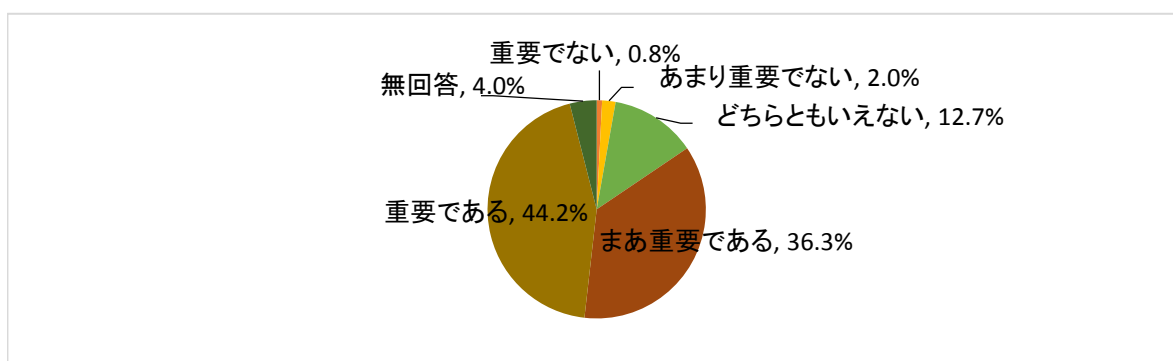
評価

選択肢	回答者数	構成比
評価できない	4	1.6%
あまり評価できない	12	4.8%
どちらともいえない	88	35.1%
まあ評価できる	120	47.8%
評価できる	25	10.0%
無回答	2	0.8%
計	251	100.1%



今後の重要性

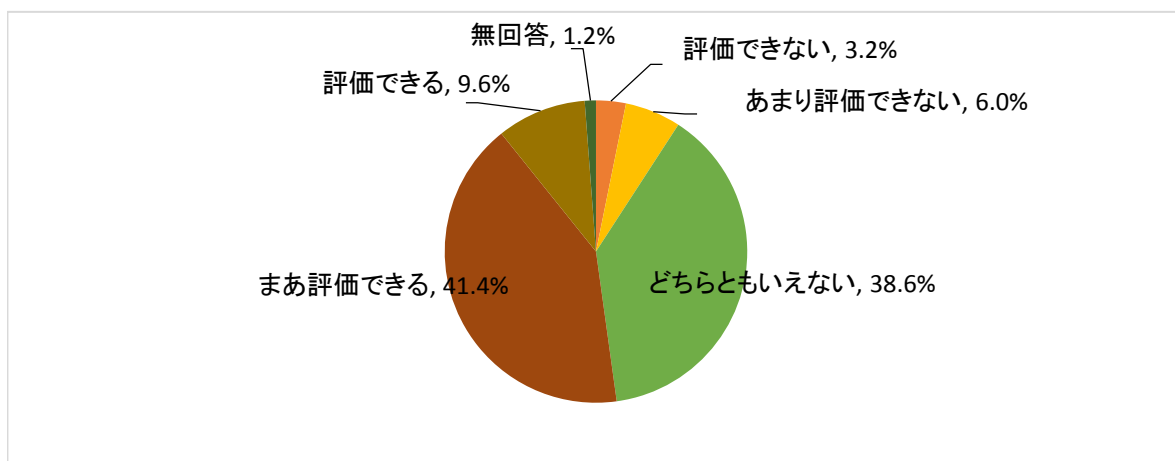
選択肢	回答者数	構成比
重要でない	2	0.8%
あまり重要でない	5	2.0%
どちらともいえない	32	12.7%
まあ重要である	91	36.3%
重要である	111	44.2%
無回答	10	4.0%
計	251	100.0%



b)これまでの改革で実現した2,800人体制を基本として、効率的・効果的に行政サービス水準の維持向上を図る観点から、適正な定員管理と人員配置を行っています。

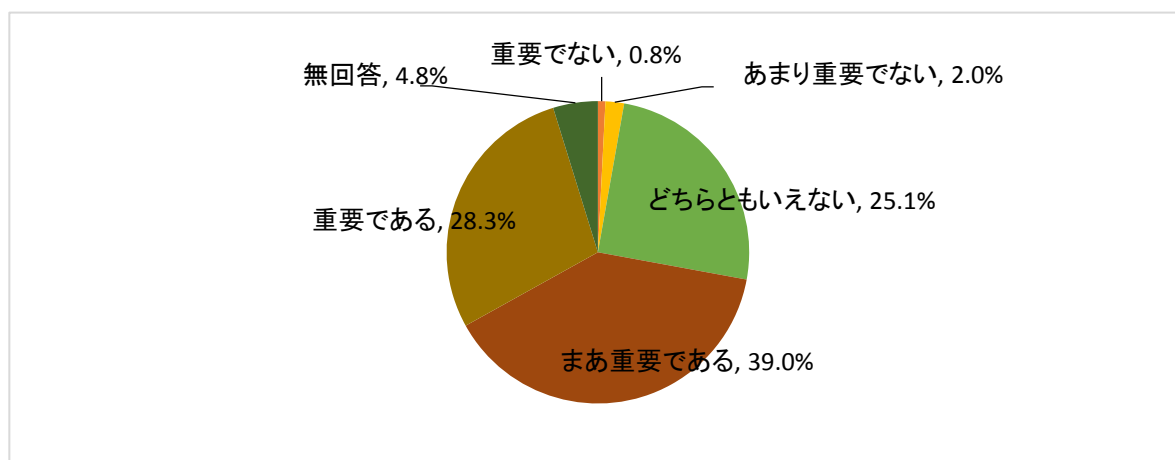
評価

選択肢	回答者数	構成比
評価できない	8	3.2%
あまり評価できない	15	6.0%
どちらともいえない	97	38.6%
まあ評価できる	104	41.4%
評価できる	24	9.6%
無回答	3	1.2%
計	251	100.0%



今後の重要性

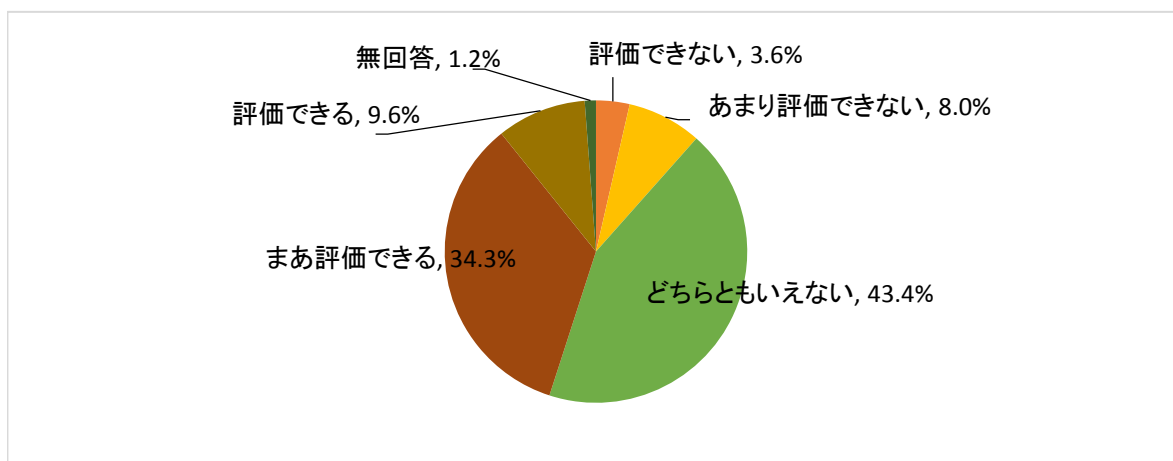
選択肢	回答者数	構成比
重要でない	2	0.8%
あまり重要でない	5	2.0%
どちらともいえない	63	25.1%
まあ重要である	98	39.0%
重要である	71	28.3%
無回答	12	4.8%
計	251	100.0%



c) 外郭団体(県が25%以上出資する公益法人等)については、より健全で自立的な経営が行われるよう、必要な見直しを行うとともに、適切に指導・監督を行っています。

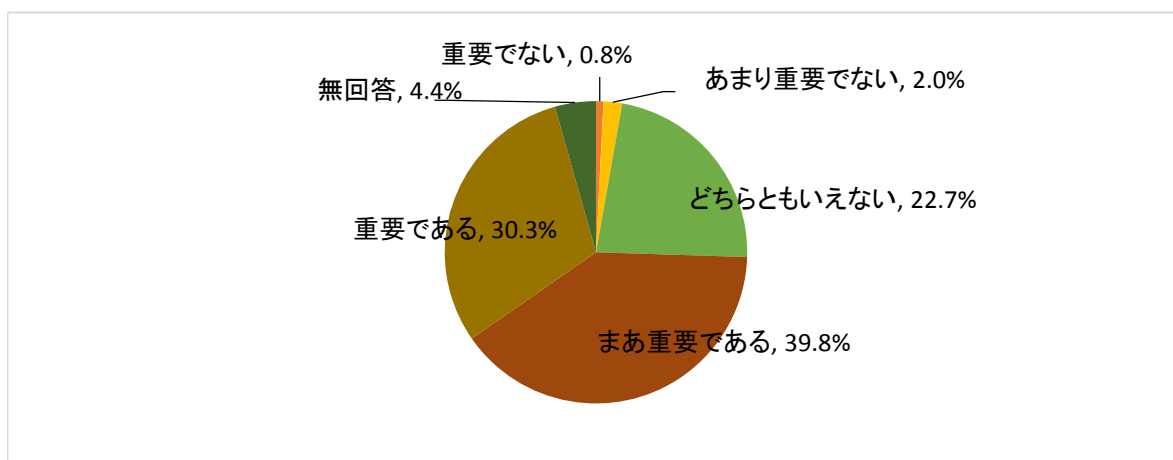
評価

選択肢	回答者数	構成比
評価できない	9	3.6%
あまり評価できない	20	8.0%
どちらともいえない	109	43.4%
まあ評価できる	86	34.3%
評価できる	24	9.6%
無回答	3	1.2%
計	251	100.1%



今後の重要性

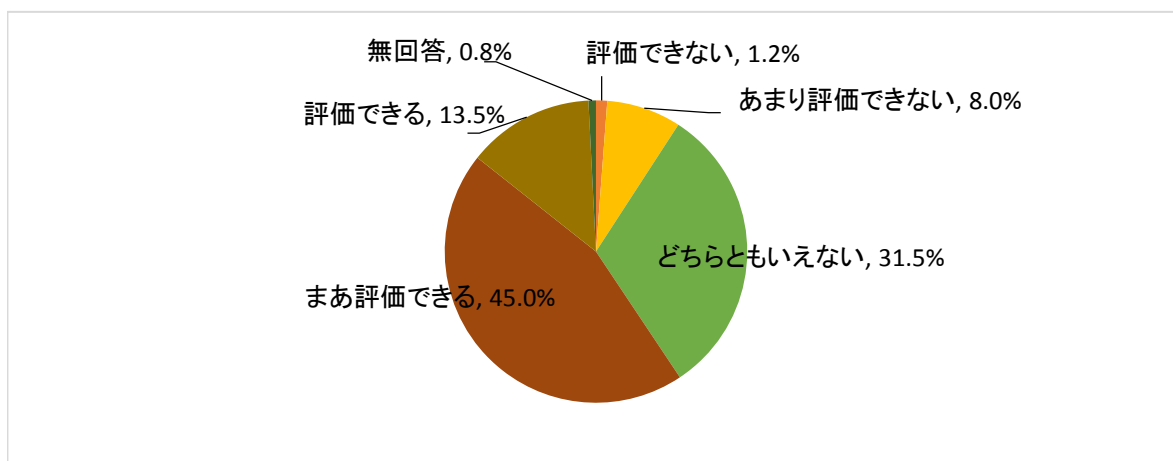
選択肢	回答者数	構成比
重要でない	2	0.8%
あまり重要でない	5	2.0%
どちらともいえない	57	22.7%
まあ重要である	100	39.8%
重要である	76	30.3%
無回答	11	4.4%
計	251	100.0%



d)さまざまな機器・閲覧環境で利用できるホームページの構築やソーシャルメディアを有効活用するなど、効果的な情報発信を行っています。

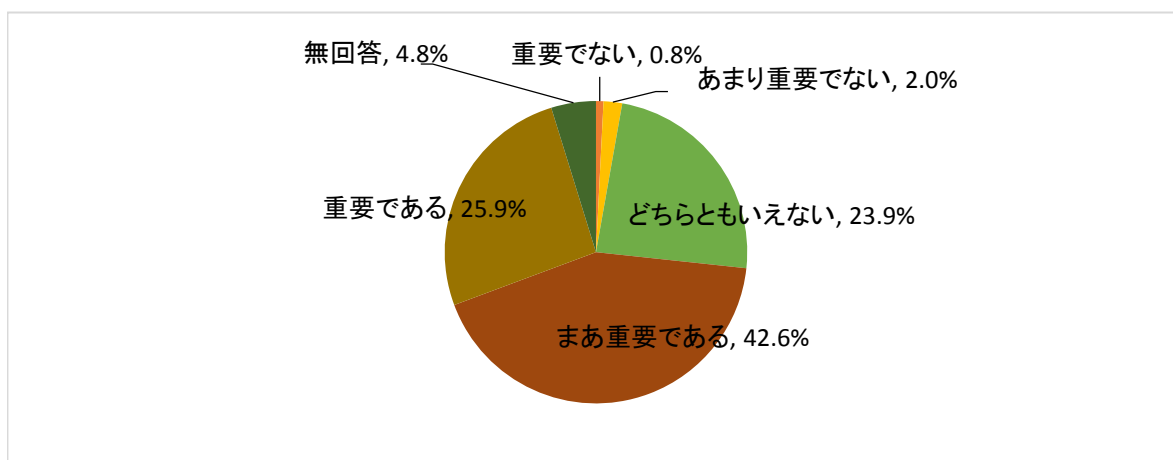
評価

選択肢	回答者数	構成比
評価できない	3	1.2%
あまり評価できない	20	8.0%
どちらともいえない	79	31.5%
まあ評価できる	113	45.0%
評価できる	34	13.5%
無回答	2	0.8%
計	251	100.0%



今後の重要性

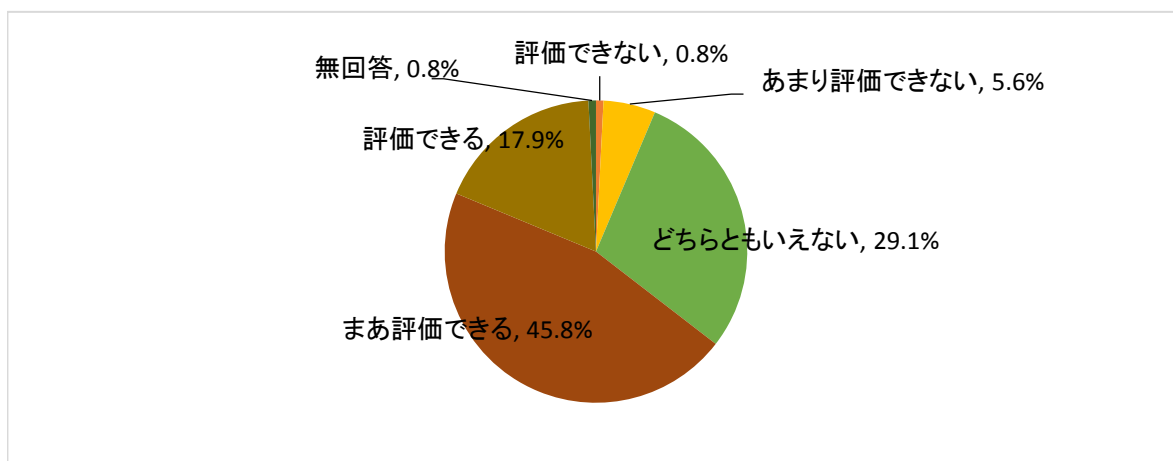
選択肢	回答者数	構成比
重要でない	2	0.8%
あまり重要でない	5	2.0%
どちらともいえない	60	23.9%
まあ重要である	107	42.6%
重要である	65	25.9%
無回答	12	4.8%
計	251	100.0%



e) 窓口において迅速にサービスが提供できるよう、電子申請の活用や申請書類・添付書類の見直しなどにより手続きや処理の効率化を進めています。

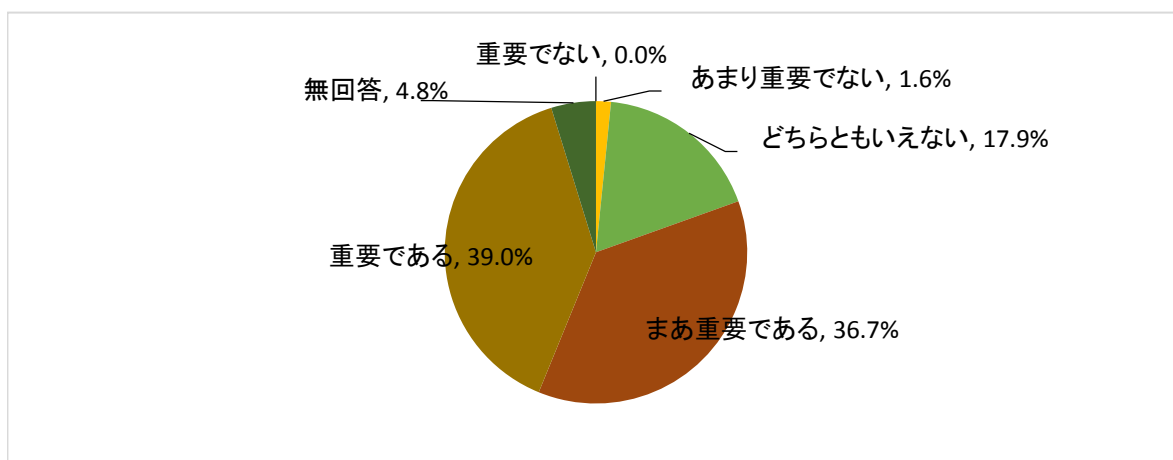
評価

選択肢	回答者数	構成比
評価できない	2	0.8%
あまり評価できない	14	5.6%
どちらともいえない	73	29.1%
まあ評価できる	115	45.8%
評価できる	45	17.9%
無回答	2	0.8%
計	251	100.0%



今後の重要性

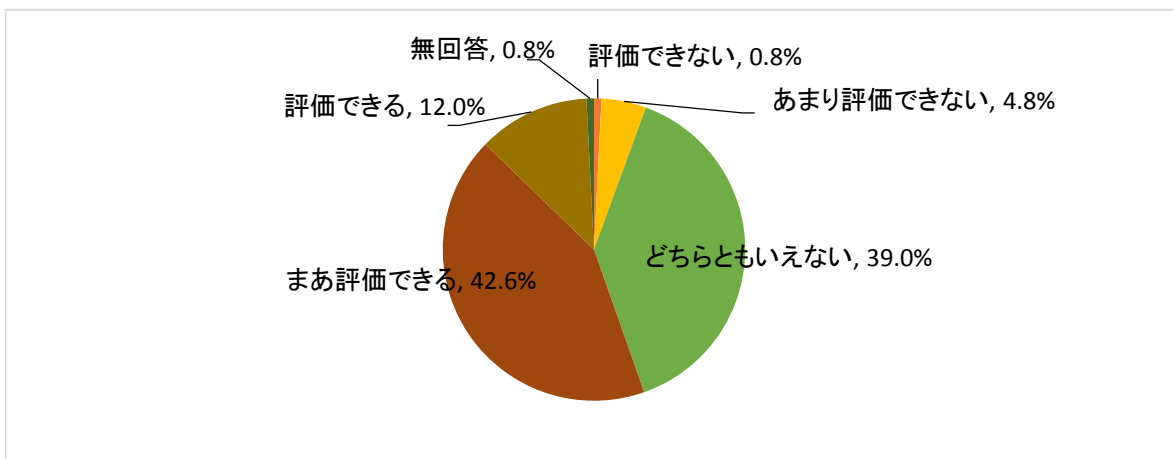
選択肢	回答者数	構成比
重要でない	0	0.0%
あまり重要でない	4	1.6%
どちらともいえない	45	17.9%
まあ重要である	92	36.7%
重要である	98	39.0%
無回答	12	4.8%
計	251	100.0%



f) 多様化・広域化する行政課題に対し、他県等との広域連携や市町、大学、地域団体等との連携を推進し、その人的資源や知的財産を有効に活用して、地域の課題解決に努めています。

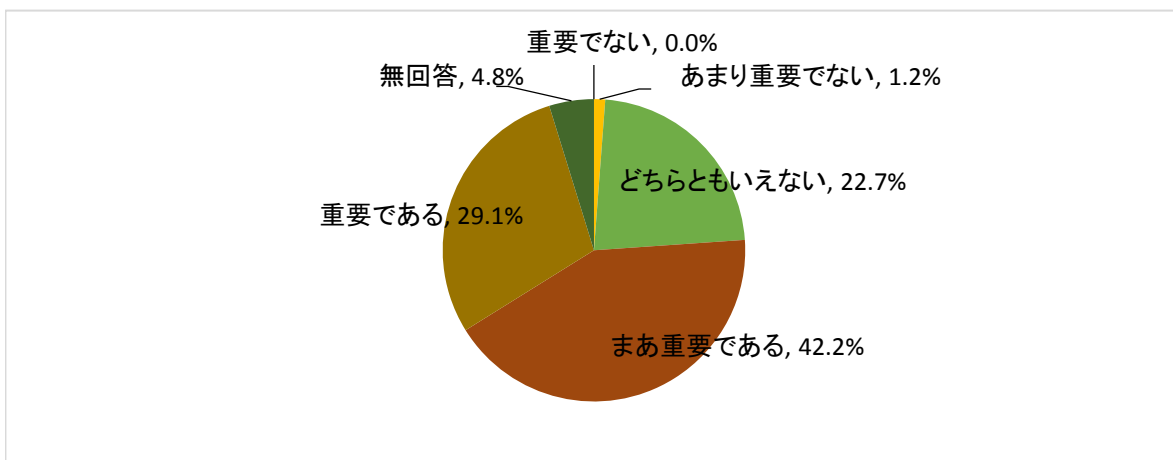
評価

選択肢	回答者数	構成比
評価できない	2	0.8%
あまり評価できない	12	4.8%
どちらともいえない	98	39.0%
まあ評価できる	107	42.6%
評価できる	30	12.0%
無回答	2	0.8%
計	251	100.0%



今後の重要性

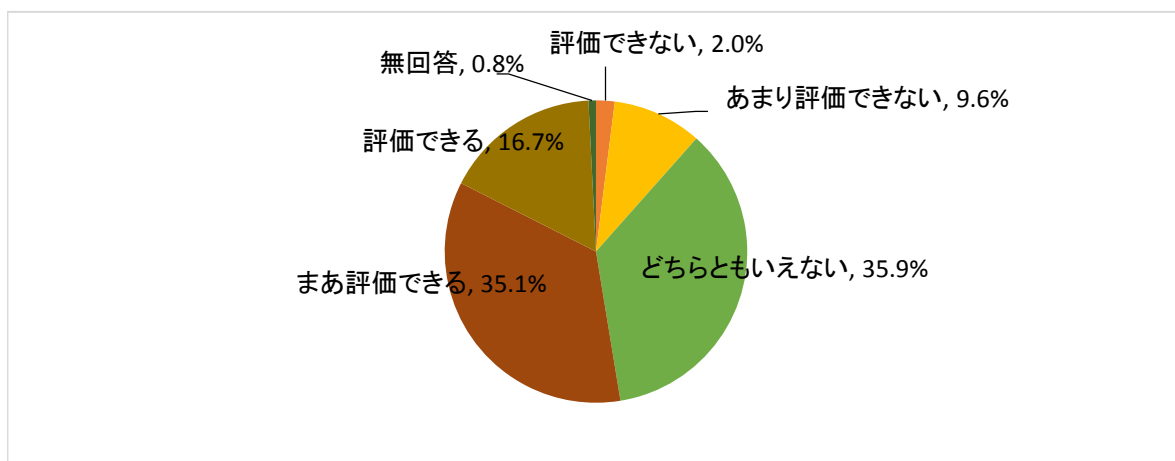
選択肢	回答者数	構成比
重要でない	0	0.0%
あまり重要でない	3	1.2%
どちらともいえない	57	22.7%
まあ重要である	106	42.2%
重要である	73	29.1%
無回答	12	4.8%
計	251	100.0%



g) 情報セキュリティを確保するための体制を整備するほか、法令遵守や不祥事防止など職員の規律維持の徹底に努めています。

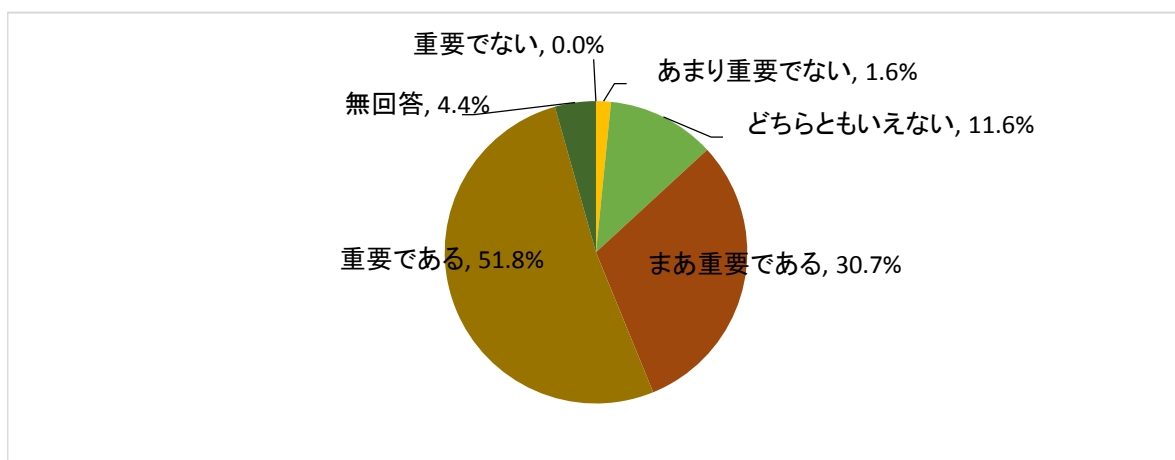
評価

選択肢	回答者数	構成比
評価できない	5	2.0%
あまり評価できない	24	9.6%
どちらともいえない	90	35.9%
まあ評価できる	88	35.1%
評価できる	42	16.7%
無回答	2	0.8%
計	251	100.1%



今後の重要性

選択肢	回答者数	構成比
重要でない	0	0.0%
あまり重要でない	4	1.6%
どちらともいえない	29	11.6%
まあ重要である	77	30.7%
重要である	130	51.8%
無回答	11	4.4%
計	251	100.1%

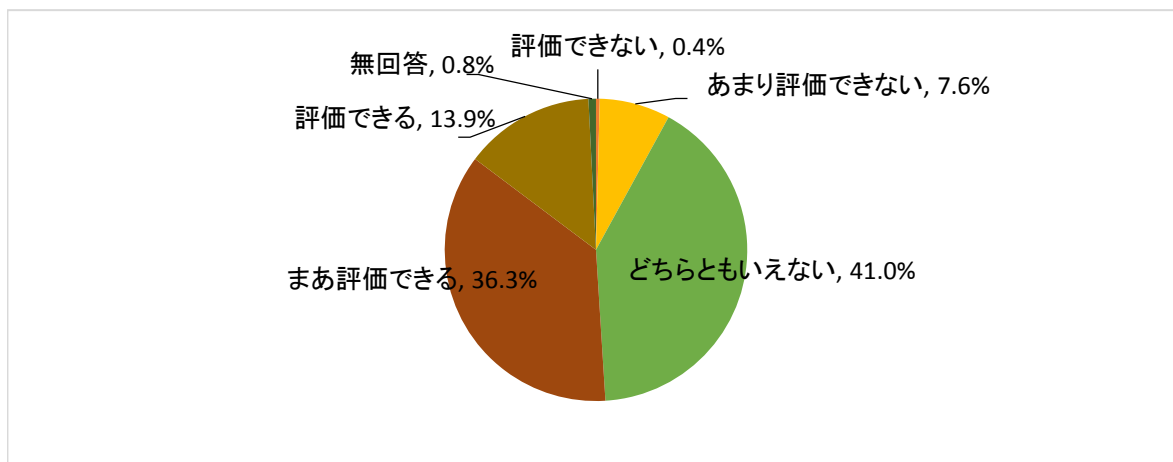


2 人材育成・活用の最適化

a) 高度化・複雑多様化する行政課題に対応していけるよう、課題に対して積極果敢に取り組むことができる多様な能力を持った職員の育成を行っています。

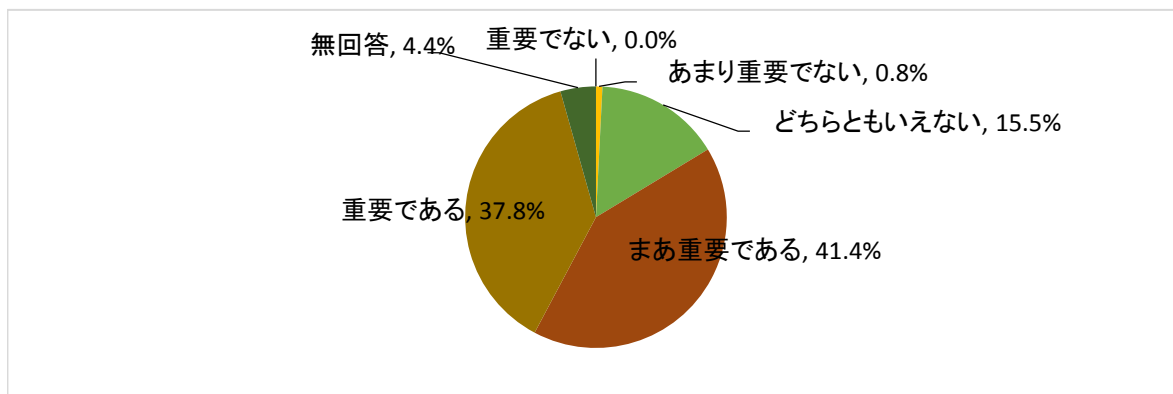
評価

選択肢	回答者数	構成比
評価できない	1	0.4%
あまり評価できない	19	7.6%
どちらともいえない	103	41.0%
まあ評価できる	91	36.3%
評価できる	35	13.9%
無回答	2	0.8%
計	251	100.0%



今後の重要性

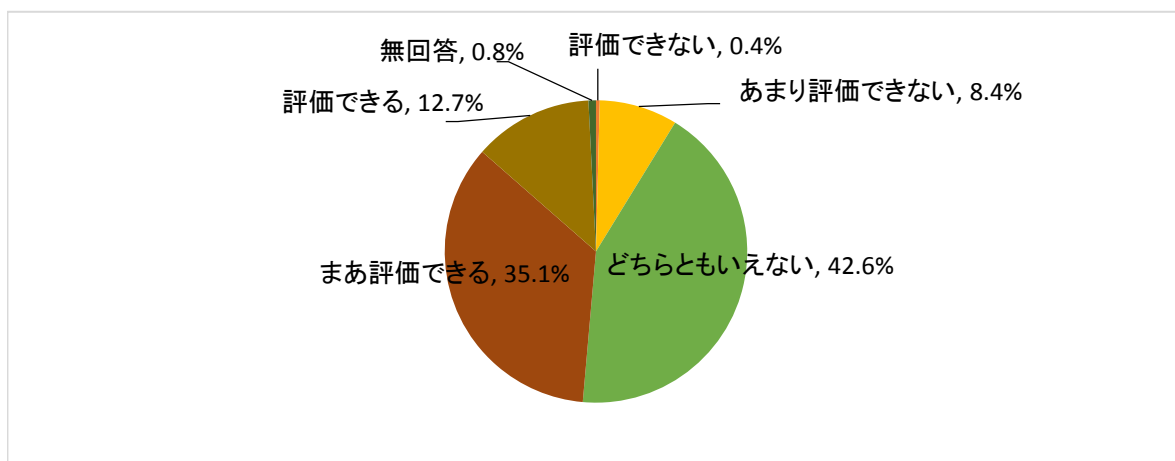
選択肢	回答者数	構成比
重要でない	0	0.0%
あまり重要でない	2	0.8%
どちらともいえない	39	15.5%
まあ重要である	104	41.4%
重要である	95	37.8%
無回答	11	4.4%
計	251	99.9%



b) 人材育成の観点や業務量の状況なども踏まえ、最も効率的・効果的に業務が遂行できるような職員配置を推進しています。

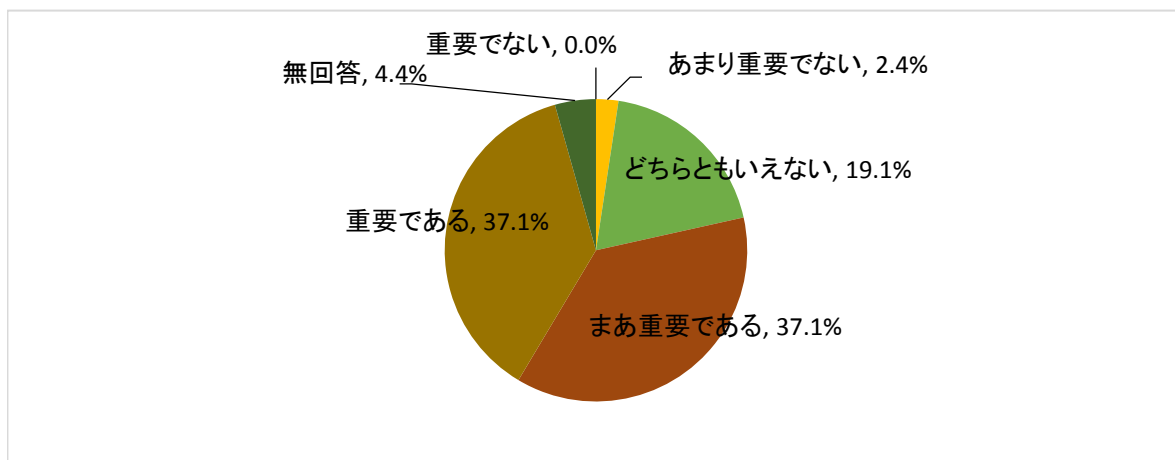
評価

選択肢	回答者数	構成比
評価できない	1	0.4%
あまり評価できない	21	8.4%
どちらともいえない	107	42.6%
まあ評価できる	88	35.1%
評価できる	32	12.7%
無回答	2	0.8%
計	251	100.0%



今後の重要性

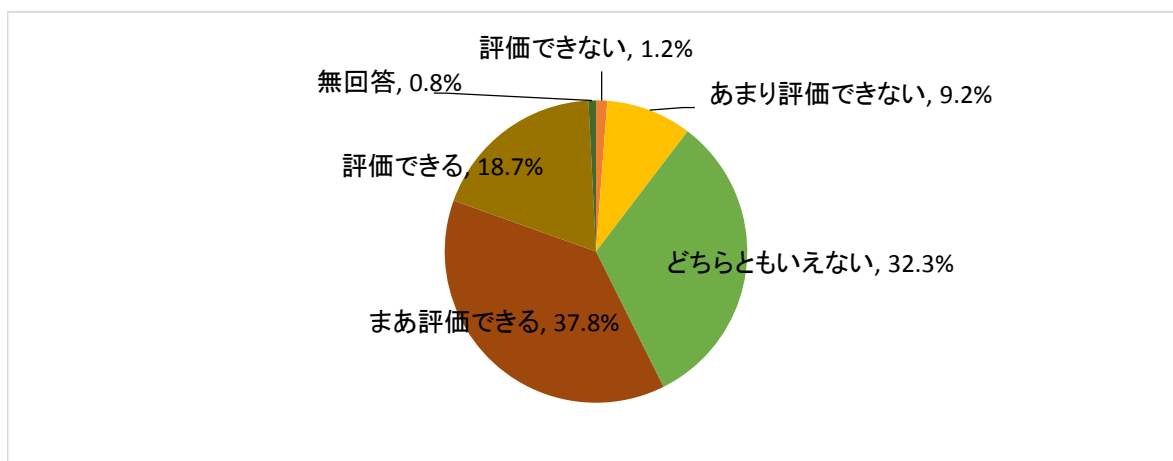
選択肢	回答者数	構成比
重要でない	0	0.0%
あまり重要でない	6	2.4%
どちらともいえない	48	19.1%
まあ重要である	93	37.1%
重要である	93	37.1%
無回答	11	4.4%
計	251	100.1%



c) 女性職員の能力を一層活用していくため、多様なポストへの配置や、キャリア形成に関する研修の充実などを通じて計画的な育成に努め、女性職員の管理職登用を推進しています。

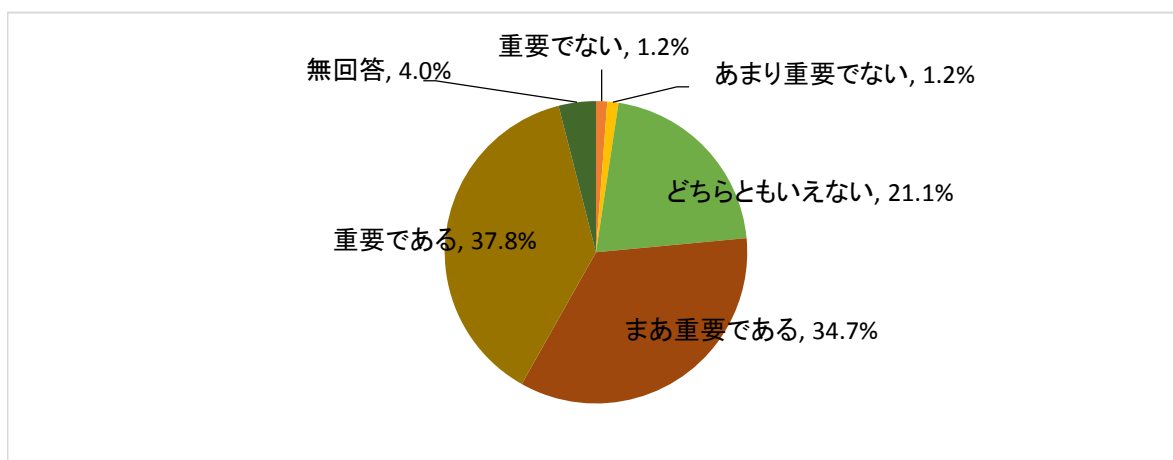
評価

選択肢	回答者数	構成比
評価できない	3	1.2%
あまり評価できない	23	9.2%
どちらともいえない	81	32.3%
まあ評価できる	95	37.8%
評価できる	47	18.7%
無回答	2	0.8%
計	251	100.0%



今後の重要性

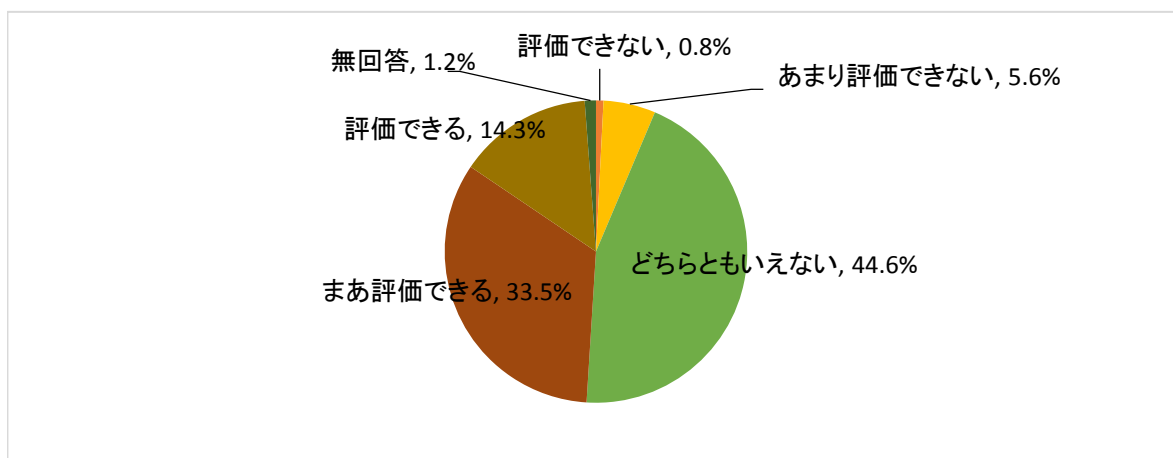
選択肢	回答者数	構成比
重要でない	3	1.2%
あまり重要でない	3	1.2%
どちらともいえない	53	21.1%
まあ重要である	87	34.7%
重要である	95	37.8%
無回答	10	4.0%
計	251	100.0%



d) 県民本位で行動する優秀な人材を確保するため、面接の実施方法を見直すとともに、優秀な人材が集まるようリクルート活動の強化など、採用活動の充実に取り組んでいます。

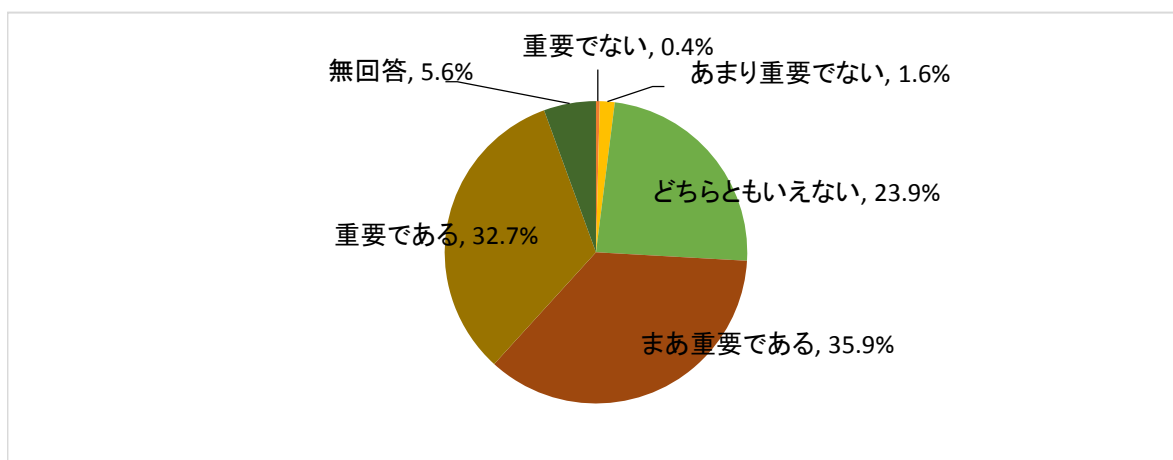
評価

選択肢	回答者数	構成比
評価できない	2	0.8%
あまり評価できない	14	5.6%
どちらともいえない	112	44.6%
まあ評価できる	84	33.5%
評価できる	36	14.3%
無回答	3	1.2%
計	251	100.0%



今後の重要性

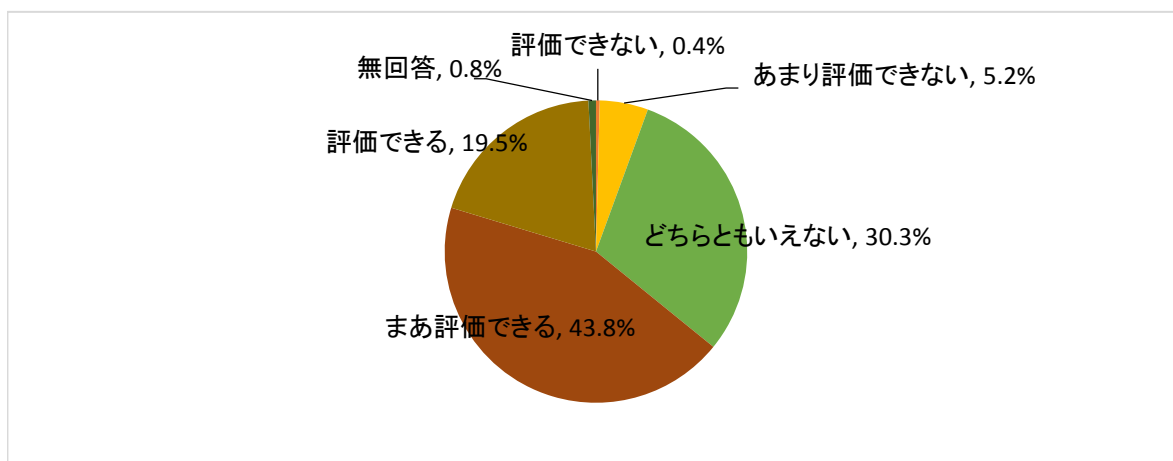
選択肢	回答者数	構成比
重要でない	1	0.4%
あまり重要でない	4	1.6%
どちらともいえない	60	23.9%
まあ重要である	90	35.9%
重要である	82	32.7%
無回答	14	5.6%
計	251	100.1%



e) 民間企業等で培った職務経験者の多様な知識・経験を生かして組織の活性化を図るとともに、職員の年齢構成のアンバランスを是正するため、職務経験者採用を実施しています。

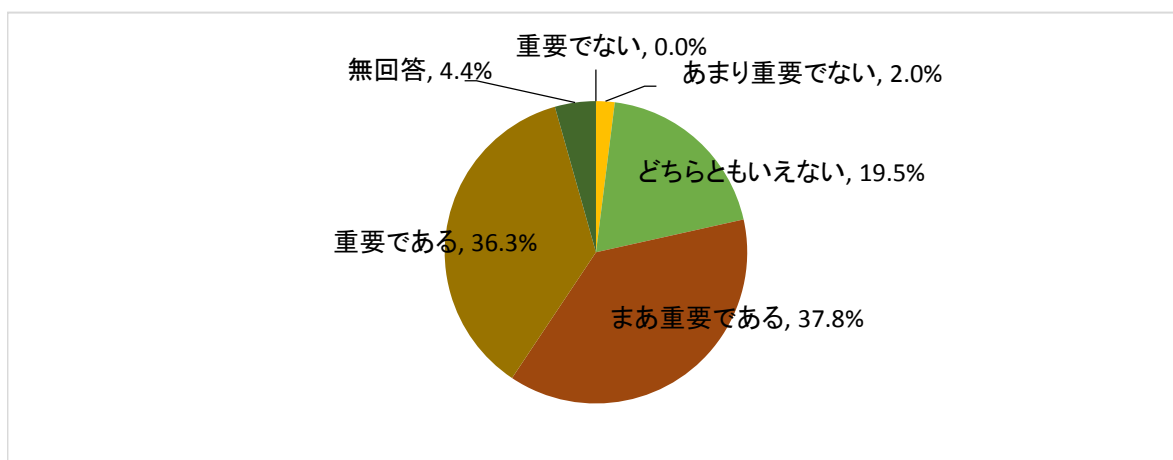
評価

選択肢	回答者数	構成比
評価できない	1	0.4%
あまり評価できない	13	5.2%
どちらともいえない	76	30.3%
まあ評価できる	110	43.8%
評価できる	49	19.5%
無回答	2	0.8%
計	251	100.0%



今後の重要性

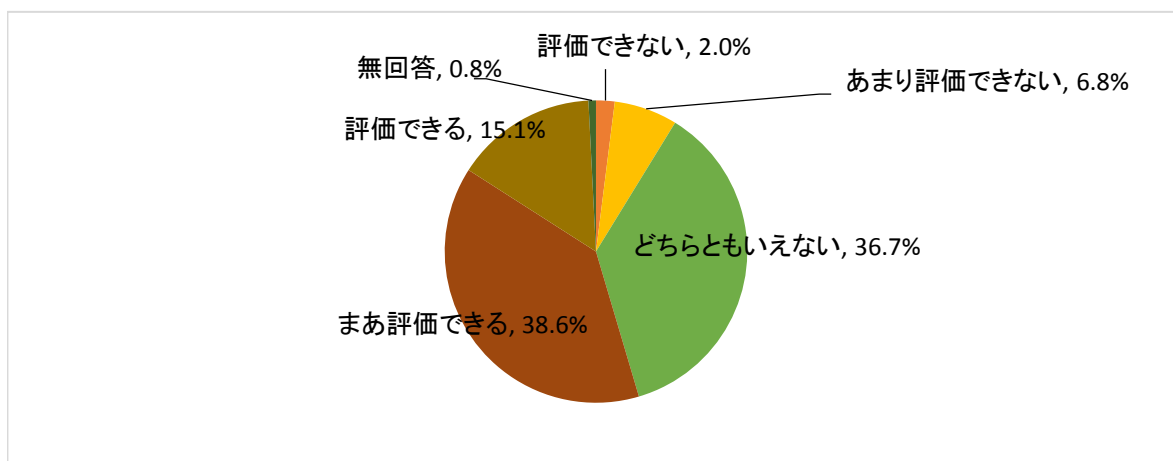
選択肢	回答者数	構成比
重要でない	0	0.0%
あまり重要でない	5	2.0%
どちらともいえない	49	19.5%
まあ重要である	95	37.8%
重要である	91	36.3%
無回答	11	4.4%
計	251	100.0%



f) 職員が意欲を持って職務に取り組み、十分にその能力が発揮できるよう、柔軟な働き方の検討や業務の効率化等による総労働時間の短縮に取り組んでいます。

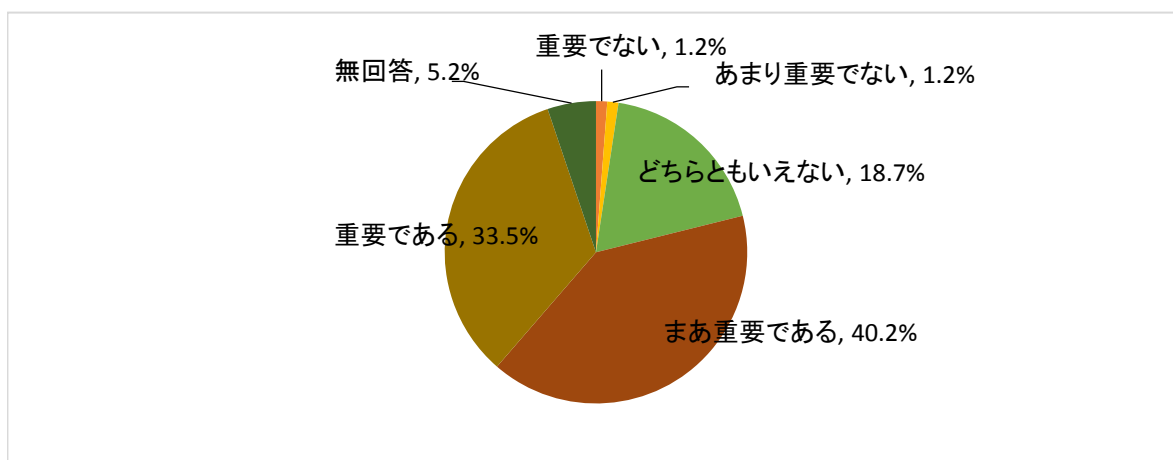
評価

選択肢	回答者数	構成比
評価できない	5	2.0%
あまり評価できない	17	6.8%
どちらともいえない	92	36.7%
まあ評価できる	97	38.6%
評価できる	38	15.1%
無回答	2	0.8%
計	251	100.0%



今後の重要性

選択肢	回答者数	構成比
重要でない	3	1.2%
あまり重要でない	3	1.2%
どちらともいえない	47	18.7%
まあ重要である	101	40.2%
重要である	84	33.5%
無回答	13	5.2%
計	251	100.0%

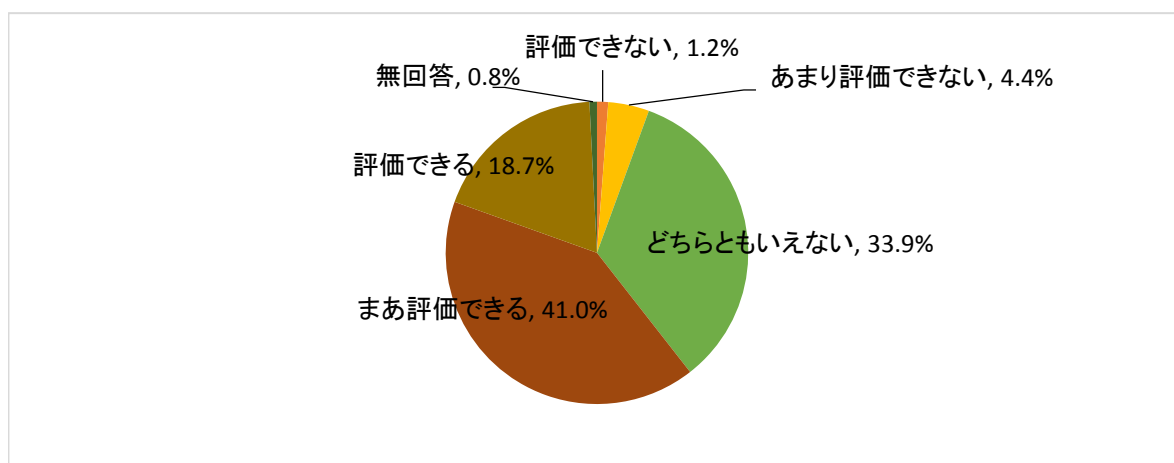


3 財政運営の最適化

a) 県税については、納期内納付の推進や積極的な滞納処分、個人県民税については、特別徴収の拡大や香川滞納整理推進機構の活用による徴収確保を進め、滞納額の圧縮を図っています。

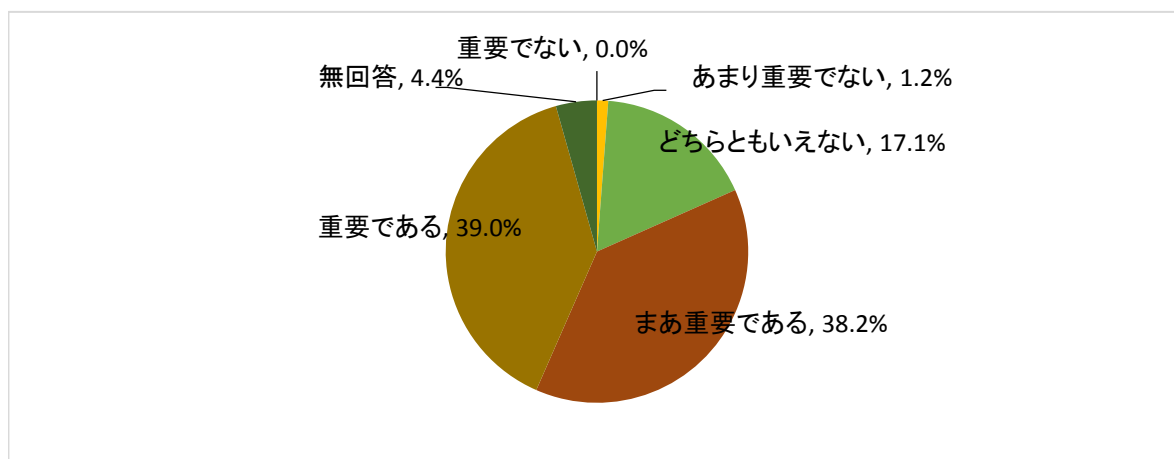
評価

選択肢	回答者数	構成比
評価できない	3	1.2%
あまり評価できない	11	4.4%
どちらともいえない	85	33.9%
まあ評価できる	103	41.0%
評価できる	47	18.7%
無回答	2	0.8%
計	251	100.0%



今後の重要性

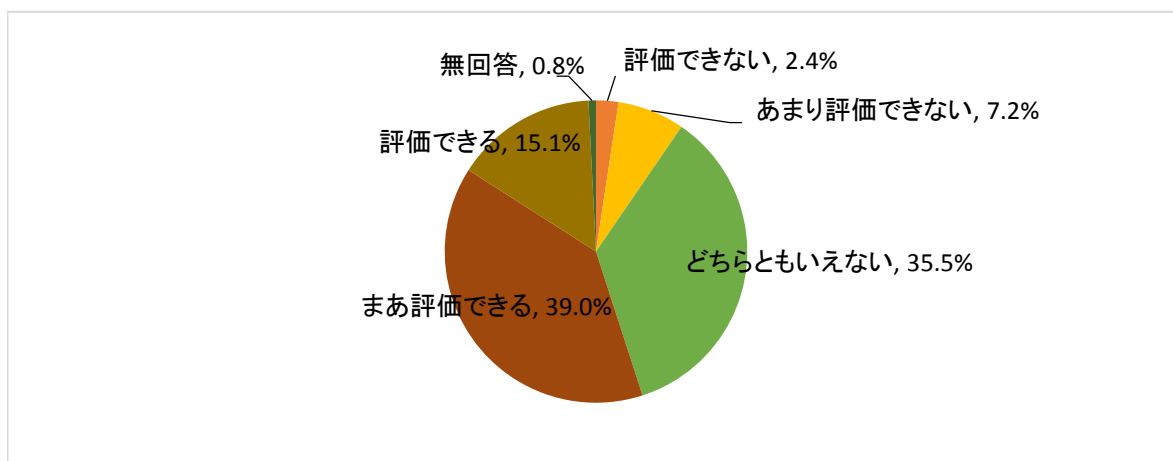
選択肢	回答者数	構成比
重要でない	0	0.0%
あまり重要でない	3	1.2%
どちらともいえない	43	17.1%
まあ重要である	96	38.2%
重要である	98	39.0%
無回答	11	4.4%
計	251	99.9%



b) 県が所有する施設やホームページなどについて、民間企業への広告枠の販売、ネーミングライツ等の手法を用いて、財源の確保を図っています。

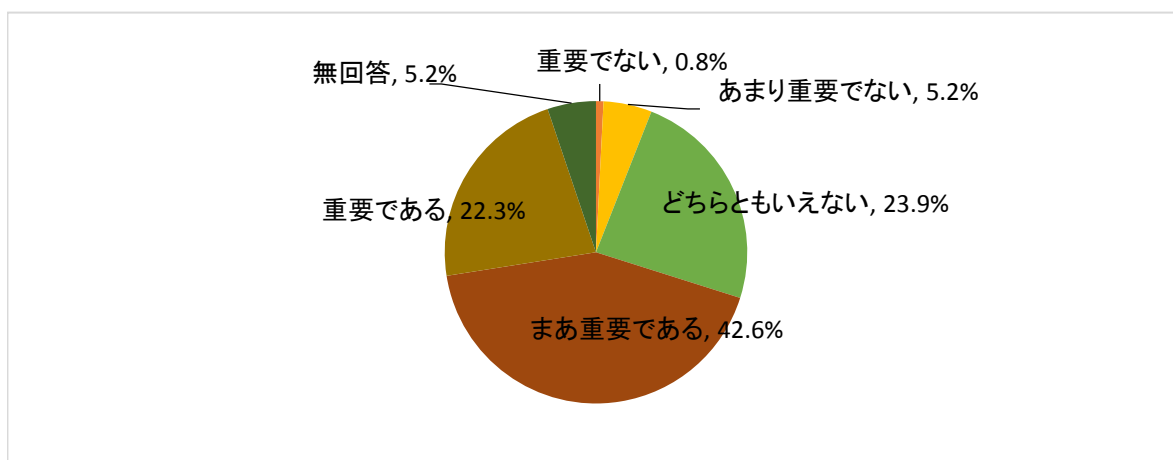
評価

選択肢	回答者数	構成比
評価できない	6	2.4%
あまり評価できない	18	7.2%
どちらともいえない	89	35.5%
まあ評価できる	98	39.0%
評価できる	38	15.1%
無回答	2	0.8%
計	251	100.0%



今後の重要性

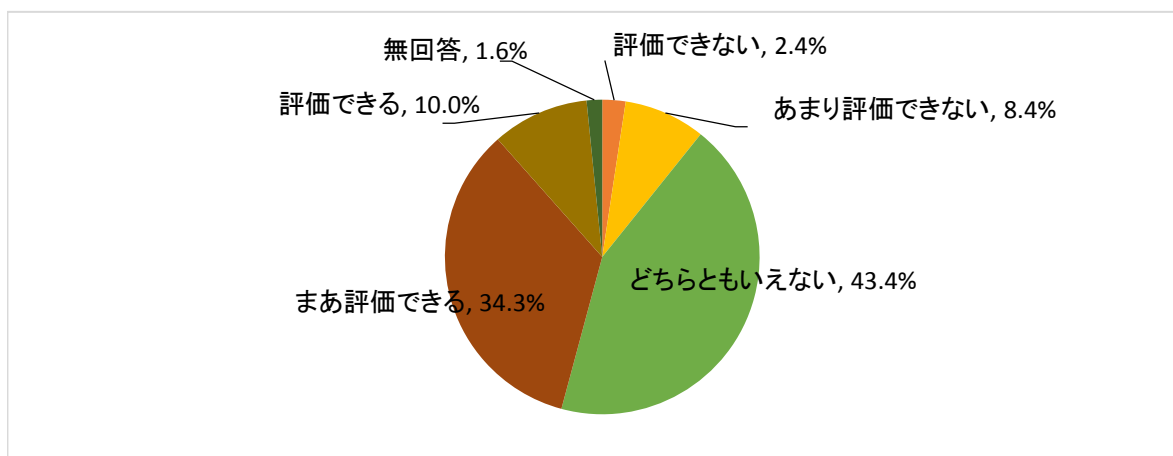
選択肢	回答者数	構成比
重要でない	2	0.8%
あまり重要でない	13	5.2%
どちらともいえない	60	23.9%
まあ重要である	107	42.6%
重要である	56	22.3%
無回答	13	5.2%
計	251	100.0%



c) 職員の適正な定員管理を行うとともに、人事委員会勧告を基本に、国や他の都道府県との均衡を考慮しながら適正な給与制度の運用に努め、給与水準を適正に管理しています。

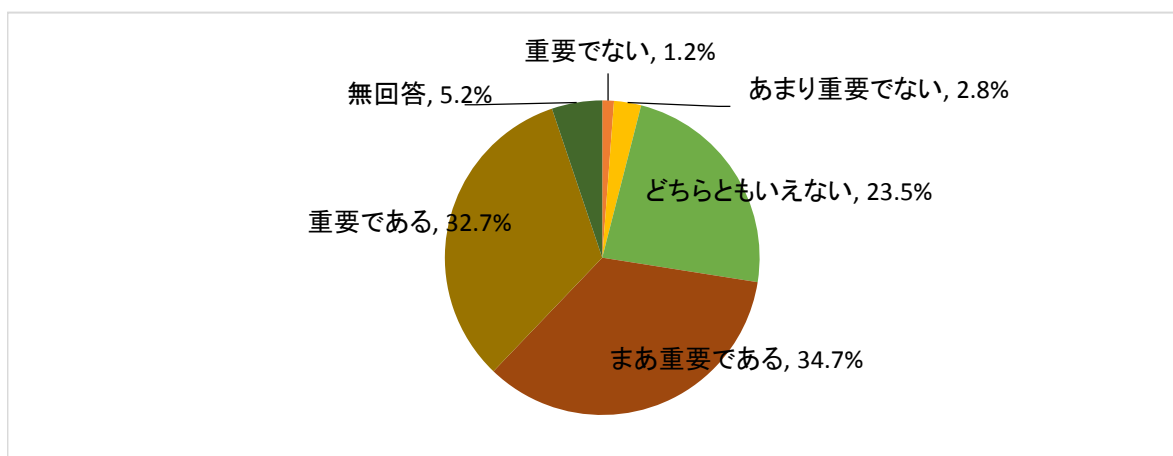
評価

選択肢	回答者数	構成比
評価できない	6	2.4%
あまり評価できない	21	8.4%
どちらともいえない	109	43.4%
まあ評価できる	86	34.3%
評価できる	25	10.0%
無回答	4	1.6%
計	251	100.1%



今後の重要性

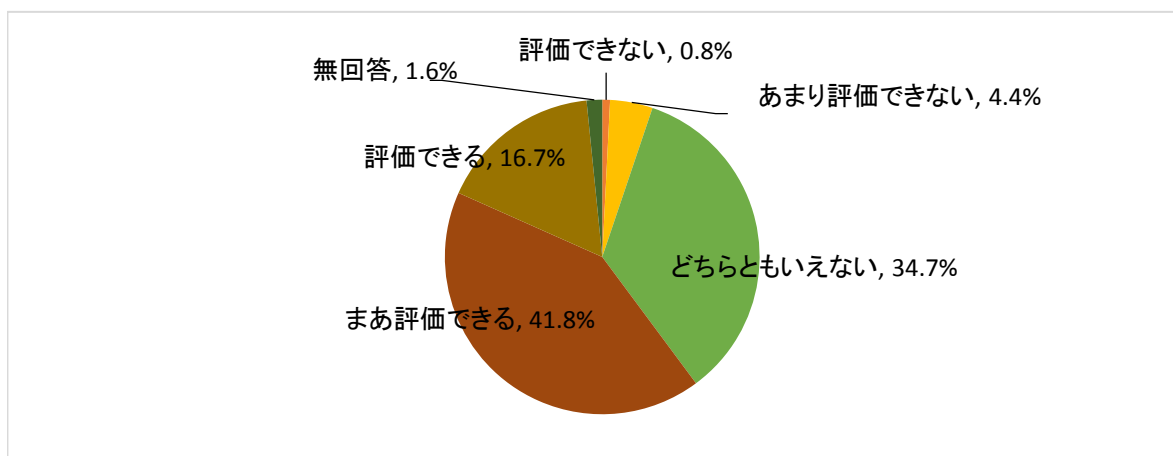
選択肢	回答者数	構成比
重要でない	3	1.2%
あまり重要でない	7	2.8%
どちらともいえない	59	23.5%
まあ重要である	87	34.7%
重要である	82	32.7%
無回答	13	5.2%
計	251	100.1%



d) 投資的経費の総額は現状維持を基本としつつ、防災・減災対策は計画的に実施するとともに、地域と経済の活性化や安全・安心の確保に資するものに重点配分しています。

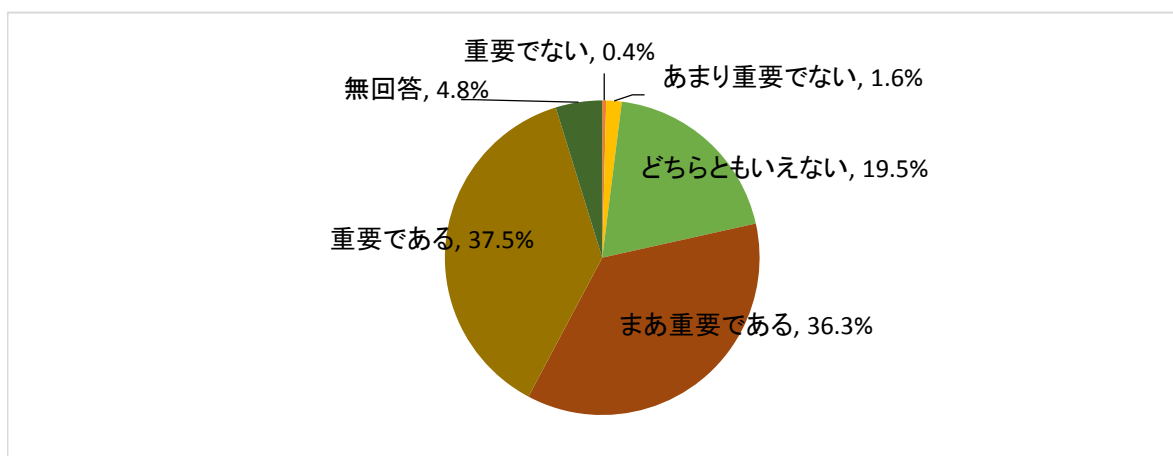
評価

選択肢	回答者数	構成比
評価できない	2	0.8%
あまり評価できない	11	4.4%
どちらともいえない	87	34.7%
まあ評価できる	105	41.8%
評価できる	42	16.7%
無回答	4	1.6%
計	251	100.0%



今後の重要性

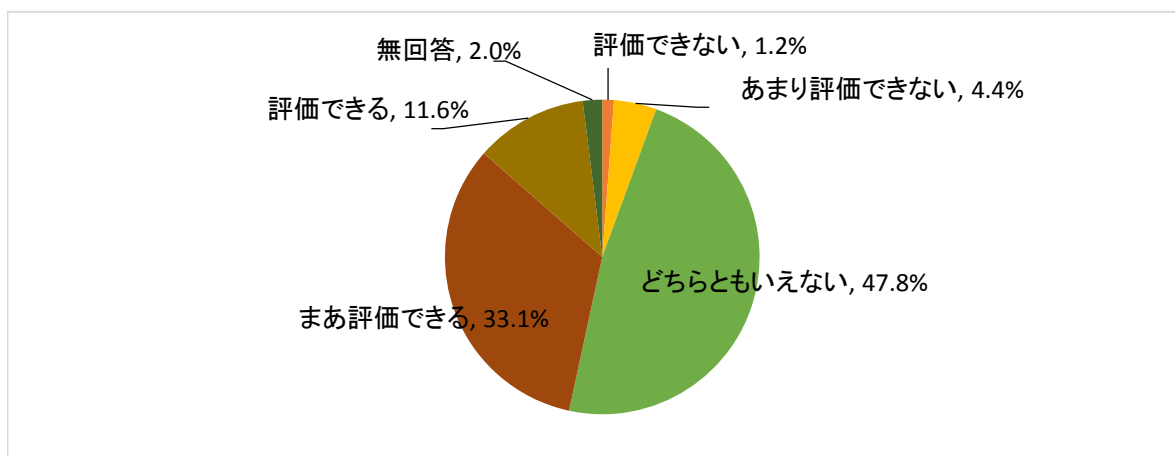
選択肢	回答者数	構成比
重要でない	1	0.4%
あまり重要でない	4	1.6%
どちらともいえない	49	19.5%
まあ重要である	91	36.3%
重要である	94	37.5%
無回答	12	4.8%
計	251	100.1%



e) 情報システム運用管理委託業務の見直しなどにより、情報システム関連経費の縮減を図っています。

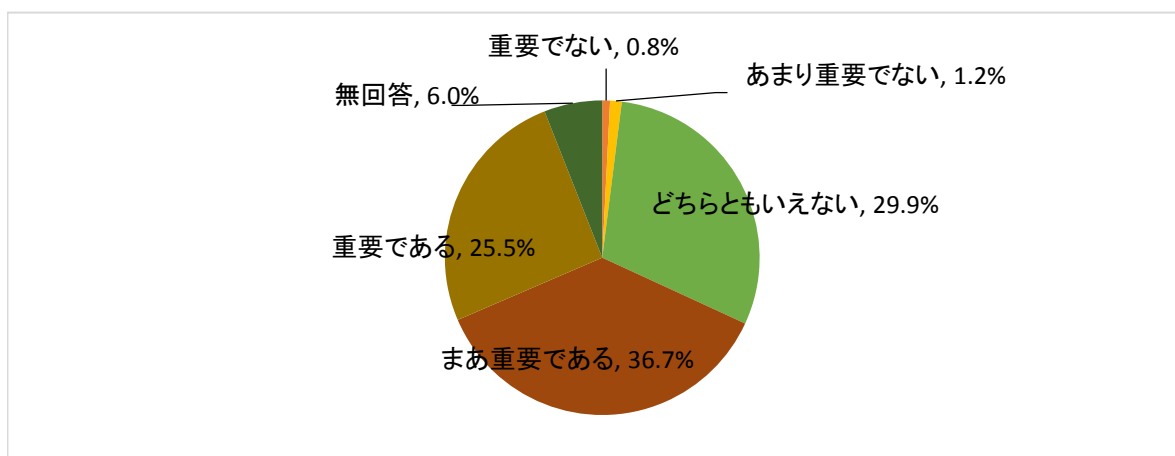
評価

選択肢	回答者数	構成比
評価できない	3	1.2%
あまり評価できない	11	4.4%
どちらともいえない	120	47.8%
まあ評価できる	83	33.1%
評価できる	29	11.6%
無回答	5	2.0%
計	251	100.1%



今後の重要性

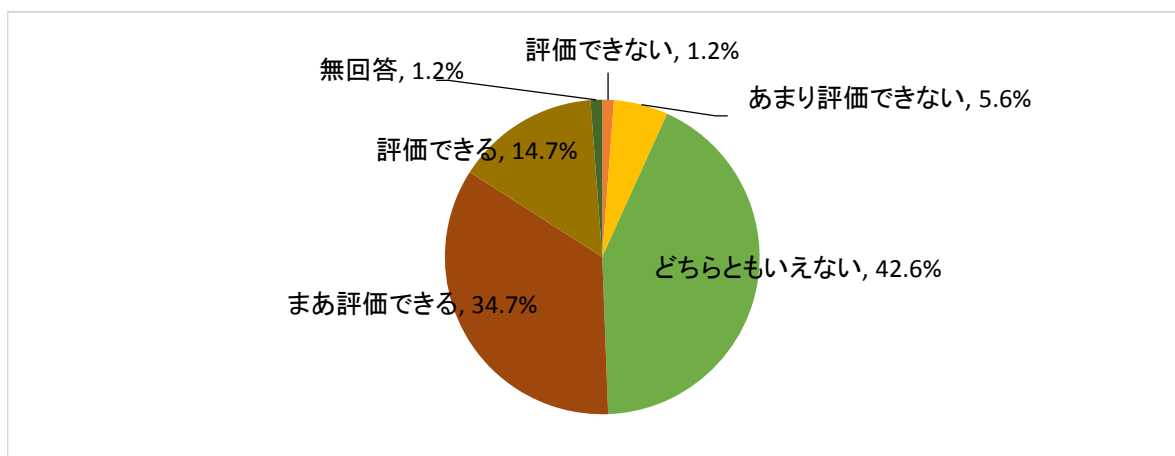
選択肢	回答者数	構成比
重要でない	2	0.8%
あまり重要でない	3	1.2%
どちらともいえない	75	29.9%
まあ重要である	92	36.7%
重要である	64	25.5%
無回答	15	6.0%
計	251	100.1%



f) 公共施設等の全体状況を把握し、長期的な視点をもって、長寿命化等を計画的に行うことにより、財政負担の軽減・平準化や公共施設等の最適な配置の実現に努めています。

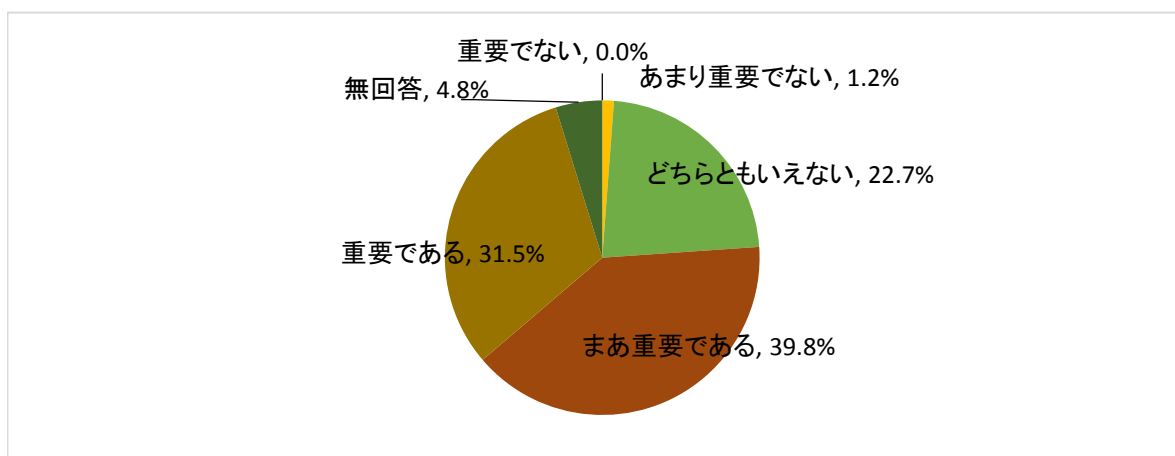
評価

選択肢	回答者数	構成比
評価できない	3	1.2%
あまり評価できない	14	5.6%
どちらともいえない	107	42.6%
まあ評価できる	87	34.7%
評価できる	37	14.7%
無回答	3	1.2%
計	251	100.0%



今後の重要性

選択肢	回答者数	構成比
重要でない	0	0.0%
あまり重要でない	3	1.2%
どちらともいえない	57	22.7%
まあ重要である	100	39.8%
重要である	79	31.5%
無回答	12	4.8%
計	251	100.0%



※ 表中の構成比は、四捨五入の関係で、合計が100%にならない場合があります。

各設問の自由意見について(評価や今後の重要性について選択した理由など)
※多くのご意見をいただいておりますが、代表的なものを掲載しています。

問2(1-a)

時代の変化や高度化・複雑多様化する行政課題に適応できる組織への見直しを行っています。
(子どもへの切れ目ない支援を総合的に推進するため、「子ども政策推進局」を設けるなど)

- ・特に行政は部局で分けられていて、一事案に対して横断的な対応が苦手なイメージがあるので、取りまとめたり一元化する部局が大切に感じる。
- ・さまざまな取り組みを行えている。しかし、県民に伝わっていないのでは?と思う点もある。

問2(1-b)

これまでの改革で実現した2,800人体制を基本として、効率的・効果的に行政サービス水準の維持向上を図る観点から、適正な定員管理と人員配置を行っています。

- ・効率的に行政サービスの向上を図るためには必要であると思う。
- ・人数は人件費に大きくかかわることで予算も減るので評価する。あとは適正と本人のやる気と部署のマッチングだろうか。1人1人がやる気をもって香川を良くして欲しい。

問2(1-c)

外郭団体(県が25%以上出資する公益法人等)については、より健全で自立的な経営が行われるよう、必要な見直しを行うとともに、適切に指導・監督を行っています。

- ・県財政支出の適正化の視点からも重要である。
- ・適切な指導、監督を行っているということで理解できるが、活動がよくわからない所がある。

問2(1-d)

さまざまな機器・閲覧環境で利用できるホームページの構築やソーシャルメディアを有効活用するなど、効果的な情報発信を行っています。

- ・情報化時代なので、スマホやパソコンで情報を受け取れるのはありがたい。しかし、今後自分が高齢になり、機器類が使いにくくなっていくのは不安だ。
- ・何のためにするか、誰のためか、その費用対効果など、常時見ていく必要がある。何でも外部に任せるのではなく。

問2(1-e)

窓口において迅速にサービスが提供できるよう、電子申請の活用や申請書類・添付書類の見直しなどにより手続きや処理の効率化を進めています。

- ・窓口サービスは県民との直接のやり取りの場なので、スムーズに対応してもらえる方が良い。
- ・もっともっとわかりやすく、利便性の高い、使い勝手の良いサービス(システム)にする必要がある。

問2(1-f)

多様化・広域化する行政課題に対し、他県等との広域連携や市町、大学、地域団体等との連携を推進し、その人的資源や知的財産を有効に活用して、地域の課題解決に努めています。

・県内だけでは限りがある。広く知見を求めて周りの県とレベルを合わせて、四国を盛り上げてほしい。関西はレベルが高いので関西の県などとも交流して香川の資源を育ててほしい。(瀬戸内海の魚など自然も)

・他県の良いところは積極的に学ぶべきである。

問2(1-g)

情報セキュリティを確保するための体制を整備するほか、法令遵守や不祥事防止など職員の規律維持の徹底に努めています。

・電子化が進み、個人情報の漏えいが非常に心配だが、具体的にどのような対策を取っているのか分からない。

・個人情報保護などは特に力を入れてほしい。

問2(2-a)

高度化・複雑多様化する行政課題に対応していけるよう、課題に対して積極果敢に取り組むことができる多様な能力を持った職員の育成を行っています。

- ・やはりどこの会社でも何でも人が大事と思う。人の力で県を良くするいい考えを持った有能な人を増やしてほしい。本当に県民のためを考えて1人1人が動いてほしい。
- ・職員の育成は短期間で出来るものではないが、それぞれの職員が自分の能力を発揮して、種々の課題に対応できる県政を目指して頂きたい。

問2(2-b)

人材育成の観点や業務量の状況なども踏まえ、最も効率的・効果的に業務が遂行できるような職員配置を推進しています。

- ・当然のこと。で、毎年どれだけの効果を見込んで、どうだったのか評価されているか。
- ・この事案は県民からはどの程度されているかは判断のしようがないのも事実。

問2(2-c)

女性職員の能力を一層活用していくため、多様なポストへの配置や、キャリア形成に関する研修の充実などを通じて計画的な育成に努め、女性職員の管理職登用を推進しています。

- ・女性だからでなく、個人の能力で登用すべき。
- ・有能な女性がどんどん登用されるのは嬉しい限りである。ようやく女性の時代が来ている気がする。男性と同様に頑張れば頑張った分だけの結果が伴えば、女性にさらにやる気生まれ、充実した職場環境が生まれると思う。

問2(2-d)

県民本位で行動する優秀な人材を確保するため、面接の実施方法を見直すとともに、優秀な人材が集まるようリクルート活動の強化など、採用活動の充実に取り組んでいます。

- ・多面的に人材を見ることを願う。
- ・公正なジャッジを望む。どう見直しているのか？果たして面接や成績だけでわかるのか？県民が望んでいる人材と県庁職員が欲しい人材に開きがあるのでは？グローバルな目線でしっかり見て欲しい。

問2(2-e)

民間企業等で培った職務経験者の多様な知識・経験を生かして組織の活性化を図るとともに、職員の年齢構成のアンバランスを是正するため、職務経験者採用を実施しています。

- ・いろいろな前職歴、年代が集まることにより、新たな発見もあると思う。
- ・民間の経験やノウハウを積極的に導入するのはとても良いと思う。

問2(2-f)

職員が意欲を持って職務に取り組み、十分にその能力が発揮できるよう、柔軟な働き方の検討や業務の効率化等による総労働時間の短縮に取り組んでいます。

- ・業務量に見合った職員配置や業務の公平な分担が必要だと思う。
- ・柔軟な働き方をすることで、家庭や子供を持つ人もより働きやすくなりいいと思う。

問2(3-a)

県税については、納期内納付の推進や積極的な滞納処分、個人県民税については、特別徴収の拡大や香川滞納整理推進機構の活用による徴収確保を進め、滞納額の圧縮を図っています。

- ・滞納整理をきちんとしていると皆が県税をきちんと納めるだろうからいいと思う。
- ・滞納者対応は大変と思うが、厳しく取り組んでほしい。

問2(3-b)

県が所有する施設やホームページなどについて、民間企業への広告枠の販売、ネーミングライツ等の手法を用いて、財源の確保を図っています。

- ・財源を確保することは良いと思う。県の魅力度は相変わらず低いし、目に見える形で活かしてほしい。
- ・財源の確保に取り組んでいる点では評価できる。

問2(3-c)

職員の適正な定員管理を行うとともに、人事委員会勧告を基本に、国や他の都道府県との均衡を考慮しながら適正な給与制度の運用に努め、給与水準を適正に管理しています。

- ・県内の中小企業も含めた民間企業の給与水準に合わせるべきだと思う。
- ・近県の給与の均衡を取っているという点は評価できる。

問2(3-d)

投資的経費の総額は現状維持を基本としつつ、防災・減災対策は計画的に実施するとともに、地域と経済の活性化や安全・安心の確保に資するものに重点配分しています。

- ・もっと財政の健全化を図るとともに、投資的費用に引き当てられる予算を確保すべき。県立の箱ものなど、市と共有するようなことも考えていくべきでは。ボランティアの活動など検討。
- ・経費の総額は現状維持ではなく、適切な算出のもと、更なる節減に努めるべきである。

問2(3-e)

情報システム運用管理委託業務の見直しなどにより、情報システム関連経費の縮減を図っています。

- ・サイバーテロ対策などしっかりお願いしたい。
- ・重要な県民の情報や、さまざまな情報を司る情報を民間に委託するのはいかがなものかと思う。

問2(3-f)

公共施設等の全体状況を把握し、長期的な視点をもって、長寿命化等を計画的に行うことにより、財政負担の軽減・平準化や公共施設等の最適な配置の実現に努めています。

- ・限られた財源ではあるが、施設の陳腐化、提供サービスの低下にならないようにすることが重要であり、長寿命化だけを重視すべきでない。

- ・取り組めていない。利用少ない公共施設がたくさんある。必要じゃないもの、必要な施設とメリハリが必要。